



苫小牧市議会議員

小山 征三

通信

『夏』号

2019年 7月

小山せいぞう事務所

苫小牧市ときわ町1丁目19-23

TEL 0144 (67) 8255

市の監査委員（議会選任）に就任 公平不偏の立場で

第1回市議会臨時会は、5月20日（月）から5月22日（水）まで開かれました。

臨時会は、4月21日の統一地方選後初めての開催となるため、新しい議会人事を中心に審議を行い「議会三役」である議長、副議長、監査委員を選任しました。

今回の選挙は、自身にとって三期目の挑戦であり、多くの皆様にご支援をいただき当選を果たすことができ改めて感謝申しあげます。議会人事では、監査委員にご推挙いただきました。

本会議場でのあいさつで、私は「少子高齢化、人口減少社会における行財政は、本市も非常に厳しい状況にあります。効率的で効果的な財政運営ができますよう公正不偏の立場で、監査を務めます」とお誓いいたしました。

近年の監査報告書は、市の会計だけではなく、行財政運営全般の在り方を検証した報告書になっております。行政運営は、今まで通りの考え方では、許されなくなりました。不能欠損（未納となった市の債権）も未だに多く、市民負担の公平性推進に努めてまいります。

第2回市議会定例会は6月20日（木）から6月28日（金）まで開かれ、報告6件、議案26件、諮詢1件、要望意見書2件、決議2件などの審議が行われました。

午後、本会議を再開し、民主クラブの小山征三氏（62）を監査委員とする選任同意案について全会一致で可決した。同日前、会派の代表者会議で議会が推薦する監査委員の選案を断続的に協議。5人が所属する第3会派の民主クラブが小山氏を擁立する意向を示し、全会一致で同意した。本会議場でのあいさつした。

小山氏は「効率的かつ効率的な財政運営ができるよう、公正不偏の立場で監査に努めたい」と決意を述べた。

小山氏は苫小牧市出身、苫小牧工業高等専門学校卒。苫小牧市議選で初当選し、3期目。

11年の苫小牧市議選で初当選し、3期目。

小牧市消防職員を経て、2019年5月21日（火）苫小牧市議選で初当選し、3期目。

小山氏は「効率的かつ効率的な財政運営ができるよう、公正不偏の立場で監査に努めたい」と決意を述べた。

小山氏は「効率的かつ効率的な財政運営ができるよう、公正不偏の立場で監査に努めたい」と決意を述べた。



監査委に小山氏選出

苫小牧民報 2019年5月21日(火)

***** 2019年度 主な公共施設の建設計画 *****

消防署日新出張所庁舎建て替え事業

2020年3月末に運用再開へ

消防署日新出張所は、1978年に市営住宅併設で建設され、40年間にわたり地域住民の生活を守ってきました。しかし、1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災を受けて、耐震診断を実施した結果「震度6強から震度7の大地震で、倒壊または崩壊の危険性がある」と判定されました。消防施設として十分な耐震性能を有していないことから昨年解体され、今年度、建替工事が進められます。

新庁舎の建屋は、以前と比較すると約2.5倍の規模となり災害時などの危機管理機能を有した西地区の基幹となる消防施設です。概要は①通常建物の1.5倍の耐震強度を確保②災害時3日分の消防機能を維持する設備を完備③多様化する災害に対応する車両配備④住民の消防防災意識の高揚と知識の普及を目的とした研修室の設置などが見込まれます。運用開始予定は、来年の3月末を予定しています。



イメージ図

	旧 庁 舎	新 庁 舎
階 数	地上2階	地上2階
構 造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
延床面積	640.17 m ²	1543.16 m ²
建設場所	苫小牧市日新町4丁目2番1号	

みその・しみず保育園建て替え事業

2021 年度に開園予定

2015年4月にスタートした「子ども・子育て支援新制度」では、本市がより充実した保育施設を効率的に展開するために公立・法人保育所の役割などの違いを踏まえ、互いの特徴をより一層活かした取り組みが進められてきました。今議会では「みその・しみず保育園」の工事関連予算が計上され、2年後の2021年開園を目指しています。

今後、公立保育所で優先的に取り組む課題として、
①3歳未満児の受け入れ体制の充実②障がい児保育またはアレルギーのある児童向けの保育の実施③病児病後児保育の実施などがあります。また、延長保育や休日保育といったいわゆる特別保育の実施も検討しています。



	みその	しみず	いとい北
建替え方式	公設公営（統合）	公設公営	
定員	0歳児	12名	12名
	1歳児	20名	20名
	2歳児	27名	27名
	3歳児	20名	20名
	4歳児	20名	20名
	5歳児	20名	20名
	計	119名	119名
	障がい児 2～5歳	12名	12名
	総計	131名	131名

新第2学校給食共同調理場は2022年稼働へ

これまで公共工事の発注に当たっては、設計・施工の分離が原則でありましたが、美原町に移転新築を検討している第2学校給食共同調理場について、厨房設備の選定や調理場本体の設計・施工を一括発注するプロポーザル（提案型公募）方式を採用し、2022年1月に運用開始する方針を示しました。本年7月に住民説明会を開催し、9月の市議会定例会で設計・施工に伴う事業費を予算計上します。

《總務委員會》

市債權管理條例制定へ

6月 26 日に開催された総務委員会では、苦小牧市の不能欠損額の現状と今後の方針を質しました。市側は、債権管理について道内で条例を制定している自治体は35市のうち23市に上ることを説明。本市の不能欠損は、ここ3ヵ年で一般会計は7千万円～9千万円、特別会計で1億2千万円、企業会計では1億3千万円となっていることを明らかにしました。これまで債権者が生活困窮により無資力、あるいは居所不明、死亡により相続人がいないなど徴収困難な場合は、債権者の状況の調査など確認をしていますが、今後は、条例制定で複雑な債権管理を体系的に整理した上、統一的な事務処理と管理の適正化を図るとしました。また、資力があるにも関わらず履行しない債権者に対しては、公平、公正な市民負担の確保の観点からしっかりと対応する考えも示しました。

《熱血現場主義》

小さなことでも身近な問題を地域から発信します！

小山集三

檢索



《綜合開發特別委員會》

経済産業省は、2020年度から新設のメガソーラーに対して固定価格買取制度（FIT）を適用しない方向で法改正を検討しています。市内の設置状況と今後の影響について見解を求めました。

市側は、本年5月現在でメガソーラーが25カ所に設置され、このうち8カ所が苦東地区にあると説明しました。岩倉市長は、FIT制度の見直しについて「非常に重要な問題である。エネルギーの需給バランスや供給事業者はどうなるか、動向を注視したい。国はしっかりととした方向性を示してほしい」と述べました。

苦小牧民報

を集める。2012年に国がF.I.T制度を導入したことによって民間企業も参入したことによって大型土木を確保しないこととあって立地が急増してきた。19年5月現在で25万所が整備され、このうち8万所が黄赤地図だ。市は建設工事の需要増に加え、固定資産税や法人税などを徴収する関連企業の進出による経済効果があることを強調。今後も積極的な誘致活動を進めると示した。

一方、経産省が新設するメガソーラーに対し、F.I.T制度を適用しない方針で法改正を検討していることについて、岩博市長は「非常に重要な問題。エネルギーは必ずなるか、改正に向けて注視したい。国はしつかりとした方向性を示してほしい」との考えを示した。